

保障性商品^{*}の保有契約(年換算保険料)反転と 基金償却・資本再構築について

朝日生命保険相互会社(社長 佐藤美樹 以下朝日生命)は、前中期経営計画での営業面の経営目標「保障性商品^{*}の保有契約(年換算保険料)反転」を達成するとともに、平成26年度決算に基づく基金償却の取扱いを決定しましたので、お知らせいたします。

なお、平成26年度決算につきましては、5月28日(木)に公表いたします。

【保障性商品^{*}の保有契約(年換算保険料)反転を達成】

営業面において、新規契約へのシフトによる営業職員チャンネルの生産性向上と代理店事業の拡大等により、「保障性商品^{*}の保有契約(年換算保険料)反転」を実現いたしました。加えて収益・財務面では、フロー収益の蓄積やリスク性資産の削減等を通じて「健全性指標の大幅な向上」を実現するなど、前中期経営計画「*Action*～突破!次なるステージへ～」(平成24～26年度)で掲げた経営目標を達成いたしました。

※ 保障性商品は、死亡保障と医療保障・介護保障等の第3分野の合計をいいます

【1,200億円の基金を一括償却】

資本面において、前中期経営計画の達成により、自己資本の拡充が進んだことに加え、市場環境の安定により基金償却を行うための環境が整ったと判断し、平成14年3月に募集した基金1,200億円を全額償却します。併せて、健全性維持の観点から同額の資本再調達(基金800億円、劣後ローン400億円)を行い、調達手段の多様化を通じた資本再構築を実行します。

なお、基金の再募集は7月の定時総代会の決議を経て正式に決定する予定です。

朝日生命は、今後もさらにお客様から信頼され、選ばれ続ける存在を目指し、新中期経営計画「**SHINKA(新化・進化・真価)～未来に挑む～**」(平成27～29年度)の完遂に取り組んでまいります。

以 上